

令和2年度第1回墨田区地域包括支援センター運営協議会議事要旨

日 時：令和2年7月27日（月） 午後1時30分から午後3時まで

場 所：墨田区役所2階 リバーサイドホールイベントホール

出席者（敬称略）

会長：鏡諭

委員：山室学、松田浩、北總光生、堀田富士子、鎌形由美子、赤荻佐和、栗田陽、濱田康子、
小谷庸夫、佐藤和信、村山厚子、後藤隆宏

事務局その他：高齢者福祉課長、福祉保健部副参事（地域包括ケア推進担当）、障害者福祉
課長、介護保険課長、高齢者福祉課係長・主査4名、高齢者支援総合センタ
ー：8名

議 事

1 令和元年度事業報告及び収支報告について

・事務局が墨田区高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業実施方針について説明を行った。

・各高齢者支援総合センターから事業報告について説明を行った。

・収支報告の精算及び地域包括支援センター職員配置基準について、事務局から説明を行った。

2 第8期日常生活圏域別地域包括ケア計画について

・事務局から、第8期日常生活圏域別地域包括ケア計画の概要について説明を行った。

3 連絡事項

・令和2年度墨田区地域包括支援センター運営協議会年間予定について、事務局から説明を行った。

主な発言等

1 令和元年度事業報告及び収支報告について

（質問）みどり高齢者支援総合センターの実績の中で、「把握した社会資源82か所」と大変多い数だと思われるが、その内容を教えていただきたい。

（回答）生活支援コーディネーター等の取り組みにより、社会資源の把握が進んでいる。具体的な内容としては、買い物の際に立ち寄れるお茶屋さんや、メリヤス等の地域の商業、お店等がある。

（質問）なりひら高齢者支援総合センターの報告について、男性が集まる場である「おやじ食堂」という取組があるが、どのような工夫でうまくいっているのか。

（回答）一昨年なりひら圏域では、60代、70代前後の男性の孤立死が目立っていたことから、それらの年代を対象に実態把握等を行い、リスクが高いと思われる方は「おやじ食

堂」等の地域活動に結び付ける取組を行ってきた。その結果、かなりの数の男性を地域活動に結び付けることができ、中には活動の手伝いをしてもらうボランティアのような関わり方をしてくれる高齢者も出てきている。

2 第8期日常生活圏域別地域包括ケア計画について

(質問) この計画の特色や方向性を教えていただきたい。

(回答) 現在、高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画を策定しており、そこで定める方針が区としての大きな方向性になる。その方向性に基づき、各圏域の特性を踏まえた計画を、現在各高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室で検討している。

その他

令和2年度第2回は令和2年11月16日(月)午後1時30分から開催予定。